

第 19 回

日本臨床腸内微生物学会総会・学術集会

プログラム集

2016 年 8 月 27 日(土)  
杏林大学井の頭キャンパス  
F 棟 309 教室

共催: 日本臨床腸内微生物学会

## 開催にあたって

この度は第 19 回日本臨床腸内微生物学会総会・学術集会を担当させていただき、誠にありがとうございます。

日本臨床腸内微生物学会は、平成 10 年に故大島研三先生（日本大学名誉教授）のご尽力により、腸内微生物についての基礎的および臨床的研究を推進することで人類の健康増進に寄与することを目的として設立されました。光栄にも、私は本学会の学会賞である（第 1 回）大島賞を受賞させていただきました。さらに名誉なことに、今回、第 19 回当該総会・学術集会を開催させていただくことになりました。これも偏にご指導賜りました諸先生のおかげであると深謝しております。

さて、本学会は消化管を口腔から肛門までととらえ、その消化管に存在する微生物を基礎と臨床の枠を超えて研究することで、広く臨床医、研究者が様々な視点から議論を深めることができるユニークな学会であります。そこで本学術集会では、「消化管の入口と出口に注目して」をテーマに掲げ、「特別講演」、「教育講演」、「シンポジウム I、II」、「一般講演」を企画しました。特別講演は、杏林大学外国語学部の金田一秀穂先生に「生きている言葉／医学の言葉」をご講演いただきます。教育講演では、東邦大学医学部の石井良和先生に「 $\beta$  ラクタム薬耐性腸内細菌科細菌、その特徴から感染症治療薬まで」をご講演いただきます。また、シンポジウム I、II では、「口腔フローラと全身疾患との関わり」および「*Clostridium difficile* 感染症(CDI) Update ー疫学、診断そして治療ー」を企画いたしました。

多くの先生にご参加いただき、闊達な議論をしていただきますよう、お願い申し上げます。

平成 28 年 7 月吉日

第 19 回日本臨床腸内微生物学会総会・学術集会

会長 田口 晴彦

(杏林大学保健学部)

# 開 催 概 要

## 第 19 回日本臨床腸内微生物学会総会・学術集会

- 会 長 : 田口 晴彦 (杏林大学保健学部)
- 会 期 : 平成 28 年 8 月 27 日 (土)
- 会 場 : 杏林大学井の頭キャンパス 医学部・共用棟 F309 教室  
〒181-8612 東京都三鷹市下連雀 5 - 4 - 1  
TEL: 0422 - 47 - 8000 (代表)
- 受 付 : 8:00～
- 本 会 : 8:55～17:30
- 総 会 : 13:25～14:00
- 意見交換会 : 17:30～19:00
- 事 務 局 : 第 19 回日本臨床腸内微生物学会総会事務局  
事務局長 新江 賢  
〒181-8612 東京都三鷹市下連雀 5 - 4 - 1  
杏林大学保健学部免疫学研究室内  
E-mail: araek@ks.kyorin-u.ac.jp

## アクセスガイド

### 三鷹駅（JR 中央線・総武線）

南口バス乗り場 8 番 杏林大学井の頭キャンパス行（約 15 分）

### 吉祥寺駅（JR 中央線・総武線・京王井の頭線）

南口バス乗り場 5 番 杏林大学井の頭キャンパス行（約 15 分）

南口バス乗り場 2 番 千歳烏山北口行 <新川経由> 「新川」下車（約 9 分）

南口バス乗り場 3 番 大沢行「新川」下車（約 9 分）

武蔵境駅南口行 <大沢経由> 「新川」下車（約 9 分）

南口バス乗り場 4 番 調布駅北口行 <神代植物公園前経由> 「新川」下車（約 9 分）

南口バス乗り場 6 番 深大寺行「新川」下車（約 9 分）

野ヶ谷行「新川」下車（約 9 分）

調布駅北口行 <野ヶ谷経由> 「新川」下車（約 9 分）

### 千歳烏山駅（京王線）

北口バス乗り場 1 番 吉祥寺駅行・吉祥寺中央口行 「野村病院」下車（約 20 分）

### 仙川駅（京王線）

甲州街道バス乗り場 吉祥寺中央口行 「野村病院」下車（約 20 分）

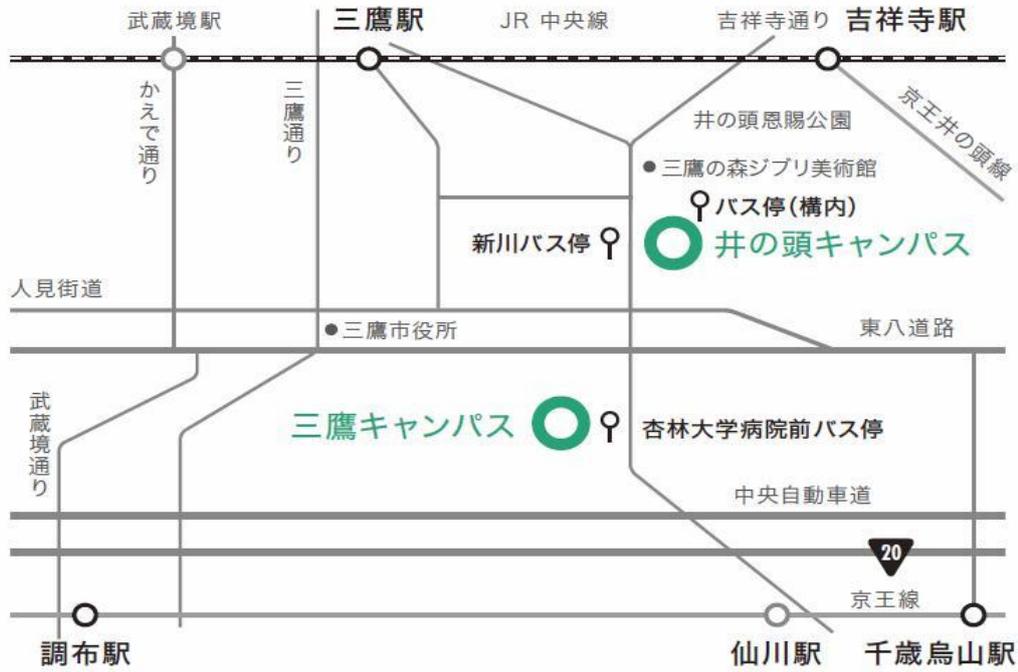
### 調布駅（京王線）

北口バス乗り場 13 番 神代植物公園前経由吉祥寺中央口行・吉祥寺駅行

野ヶ谷経由吉祥寺中央口行・吉祥寺駅行

「野村病院」下車（約 25 分）

# 会場案内



(井の頭キャンパスマップ)



## タイムテーブル

	F棟309教室 (3F)	ホワイエ
8:00	受付開始	
8:55	開会挨拶	
9:00	一般演題Ⅰ「基礎」 座長 辨野義己、中村明子 演者 大崎敬子、松本麻未 高橋美穂、大谷郁、内田宣邦	企業展示
9:50	シンポジウムⅠ「口腔フローラと全身疾患との関わり」 座長 石原和幸、米澤英雄 演者 中川種昭、石原和幸 今井健一、坂本春生	コーヒー ブレイク
11:20	休憩	
11:30	特別講演「生きている言葉/医学の言葉」 座長 田口晴彦 演者 金田一秀穂	
12:10	休憩	
12:15	ランチョンセミナー(共催 ミヤリサン製薬株式会社) 「臨床医の見地からマイクロビオームと感染症を考える」 座長 岩田 敏 演者 三鴨廣繁、山岸由佳	昼食
13:15	休憩	
13:25	総会	
14:00	教育講演 「βラクタム薬耐性腸内細菌科細菌、 その特徴から感染症治療薬まで」 座長 大毛宏喜 演者 石井良和	企業展示
15:00	一般演題Ⅱ「臨床」 座長 有馬陽一 演者 梶原俊毅、西田理子	
15:20	休憩	
15:30	シンポジウムⅡ「 <i>C. difficile</i> 感染症(CDI) Update -疫学、診断そして治療-」 座長 古川清憲、神谷 茂 演者 加藤はる、大島利夫 大草敏史、高橋志達	コーヒー ブレイク
17:30	閉会挨拶	

# 学会参加者へのご案内

## 1. 参加受付

受付時間：平成 28 年 8 月 27 日(土)午前 8 時～

受付場所：杏林大学井の頭キャンパス 医学部・共用棟 F309 教室前ホワイエ

## 2. 学会参加費

学会参加当日に受付にてお支払ください。

参加費：5,000 円 学生：無料

## 3. 意見交換会

意見交換会にご参加いただける先生は、学会参加受付にてお申し込みください。

参加費：3,000 円 学生：無料 (1 階 食堂)

## 4. 抄録・プログラム

会員の方には事前に事務局よりお送りしておりますが、ご希望の方には当日受付にて 1 部 1,000 円で販売いたします。

## 5. コーヒーブレイク

会場前ホワイエにてコーヒーを用意しておりますので、お召し上がりください。

## 6. 企業展示

会場前ホワイエにて企業展示を行っております。

## 7. 貴重品の管理

私物・貴重品はご自分で管理していただきますよう、お願いいたします。

## 8. 事務局からのお知らせ

- ・構内は禁煙ですが、2 階、および 4 階に喫煙室がございます。
- ・学会当日に入会受付も行っております。ご希望の方は、学会事務局までお越しください。

## 演者の先生方へのご案内

### I. 演者の皆さまへ

1. 発表形式は全て PC を用いた口頭発表です。
2. 発表時間
  - ・一般演題 発表時間 7 分 質疑応答 3 分
  - ・シンポジウム オーガナイザーの先生のご指示にしたがってください。

#### <PC 持ち込みの場合・Windows または Macintosh>

- ・発表セッション開始 30 分前までに、会場前の PC 受付にお越しくください。PC の出力チェック、引き受けをいたします。PC は発表終了後、PC 受付にて返却いたします。
- ・PC 持ち込みの場合であっても、バックアップデータを各種メディアでご持参ください。
- ・会場でご用意する PC ケーブルコネクタの形状は D-Sub15 ピンです。この形状に合った PC をご用意ください。また、この形状に変換するコネクタを必要とする場合は、ご自身でご用意ください。
- ・OS、アプリケーションソフトはご自身で使用しているものをご利用いただきます。
- ・スクリーンセーバー並びに省電力設定は事前に解除してください。

#### <データ持ち込みの場合・Windows のみ>

- ・データファイル名には演題番号・演者氏名（漢字）を必ず付けてください。
- ・フォントは文字化け、レイアウトの崩れを防ぐため、以下のフォントに限定させていただきます。(MS ゴシック、MSP ゴシック、MS 明朝、MSP 明朝、Arial、**Arial Black**、Century、Century Gothic、Times New Roman)
- ・データは最新のウイルス駆除ソフトにてチェックをお済ませの上で、ご持参ください。
- ・Windows PC 上で問題無くスライドショーが再生されるかをご確認いただいてからご持参ください。
- ・当日会場に設置される PC の OS は Windows 7 です。

3. 動画・音声ファイルのご使用は PC 持ち込みに限らせていただきます。

### II. 日本臨床腸内微生物学会雑誌（第 19 巻）投稿のお願い

本会での発表内容は、記録集として発行いたします。

ご発表・ご講演の先生方には、全てご講演内容につきまして、講演後抄録のご提出をお願いいたします。後日、学術集会事務局より日本臨床腸内微生物学雑誌（第 19 巻）への投稿をご依頼させていただきますので、ご多忙とは存じますがご高配の程よろしくお願い申し上げます。

## プログラム

8:55～9:00 開会挨拶

---

会長 田口晴彦（杏林大学保健学部）

9:00～9:50 一般演題 I 「基礎」

---

座長 辨野義己（国立研究開発法人 理化学研究所）

中村明子（東京医科大学）

1. 「*Helicobacter pylori* 家族内感染と腸内常在細菌叢」

大崎敬子、神谷 茂（杏林大学医学部 感染症学）

2. 「日本人女性膣内細菌叢の網羅的細菌解析」

松本麻未<sup>1),4)</sup>、山岸由佳<sup>1),2),3)</sup>、和泉孝治<sup>3)</sup>、宮本健太郎<sup>4)</sup>

岡健太郎<sup>2),4)</sup>、高橋志達<sup>4)</sup>、三嶋廣繁<sup>1),2),3)</sup>

1) 愛知医科大学大学院 医学研究科 臨床感染症学

2) 愛知医科大学病院 感染症科

3) いずみレディスクリニック

4) ミヤリサン製薬株式会社 東京研究部

3. 「抗癌剤治療により生じる口腔粘膜障害の口腔細菌叢の変化についての網羅的検討」

高橋美穂<sup>1)</sup>、坂本春生<sup>1)</sup>、唐木田一成<sup>1)</sup>、濱田裕嗣<sup>1)</sup>、鈴木大貴<sup>1)</sup>、鬼塚真仁<sup>2)</sup>

1) 東海大学医学部附属八王子病院口腔外科

2) 東海大学医学部附属病院 内科学系血液・腫瘍内科学

4. 「異種菌間情報伝達によるウェルシュ菌病原性関連遺伝子発現調節機構の解析」

大谷 郁、岡 健太郎、高橋志達（ミヤリサン製薬株式会社 東京研究部）

5. 「簡易に *C. difficile* を培養できる新規培地の開発」

内田宣邦、横山明彦、金子孝昌（関東化学株式会社）

9:50～11:20 シンポジウム I 「口腔フローラと全身疾患との関わり」

---

座長 石原和幸 (東京歯科大学微生物学講座)  
米澤英雄 (杏林大学医学部 感染症学)

1. 「口腔と全身疾患とのかかわり」

中川種昭 (慶應義塾大学医学部 歯科・口腔外科学教室)

2. 「口腔細菌とアテローム性動脈硬化症」

石原和幸 (東京歯科大学微生物学講座)

3. 「口腔細菌のウイルス感染症促進作用

—EBV およびインフルエンザ感染に及ぼす影響—

今井健一、神尾宜昌

(日本大学歯学部 細菌学、日本大学総合歯学研究所 生体防御部門)

4. 「感染性心内膜炎を予防するための抗菌薬投与の有効性」

坂本春生 (東海大学医学部附属八王子病院 口腔外科)

11:20～11:30 休憩

---

11:30～12:10 特別講演

---

「生きている言葉／医学の言葉」

座長 田口晴彦

演者 金田一秀穂 (杏林大学外国語学部)

12:10～12:15 休憩

---

12:15～13:15 ランチョンセミナー (共催 ミヤリサン製薬株式会社)

---

「臨床医の見地からマイクロビオームと感染症を考える」

座長 岩田 敏 (慶應義塾大学医学部 感染症学教室)

演者 三嶋廣繁、山岸由佳 (愛知医科大学大学院医学研究科 臨床感染症学)

13:15～13:25 休憩

---

13:25～14:00 総会

---

14:00～15:00 教育講演

---

「βラクタム薬耐性腸内細菌科細菌、その特徴から感染症治療薬まで」

座長 大毛宏喜 (広島大学病院 感染症科)

演者 石井良和 (東邦大学医学部 微生物・感染症学講座)

15:00～15:20 一般演題Ⅱ「臨床」

---

座長 有馬陽一 (医療法人社団 京浜会 新京浜病院)

1. 「*Enterococcus caseliflavus* と *Enterococcus gallinarum* による血流感染の臨床的特徴」

梶原俊毅、繁本憲文、大毛宏喜 (広島大学病院 感染症科)

2. 「中毒性巨大結腸症を呈した重症 *Clostridium difficile* 感染症の小児の1例」

西田理子<sup>1)</sup>、今井丈英<sup>1)</sup>、竹田幸代<sup>1)</sup>、高瀬真人<sup>1)</sup>、加藤はる<sup>2)</sup>

1) 日本医科大学多摩永山病院 小児科

2) 国立感染症研究所 細菌第二部

15:20～15:30 休憩

---

15:30～17:30 シンポジウムⅡ「*C. difficile* 感染症 (CDI) Update -疫学、診断そして治療-

---

座長 古川清憲 (医療法人社団埴原会 赤羽病院 院長)

神谷 茂 (杏林大学医学部 感染症学)

1. 「国内外の *Clostridium difficile* 優勢株とその推移」

加藤はる (国立感染症研究所 細菌第二部)

2. 「*Clostridium difficile* 感染症の検査法および発症リスク因子の評価」

大島利夫 (東海大学医学部附属病院 診療技術部臨床検査技術科)

3. 「*Clostridium difficile* 感染症の治療 - 糞便移植療法 (FMT) も含めて - 」

大草敏史 (東京慈恵会医科大学附属柏病院 消化器・肝臓内科)

4. 「*Clostridium difficile* 感染症（CDI）と腸内細菌叢～プロバイオティクスの作用～」

高橋志達<sup>1)3)</sup>、田口晴彦<sup>2)</sup>、神谷 茂<sup>3)</sup>

1) ミヤリサン製薬株式会社

2) 杏林大学保健学部免疫学教室

3) 杏林大学医学部感染症学講座

17:30～ 閉会挨拶

---

会長 田口晴彦（杏林大学保健学部）